

## 意見提出手続結果報告書

次の「佐伯市行政経営推進プラン（素案）」について、以下のとおりでしたので、お知らせします。

1 名称

佐伯市行政経営推進プラン（素案）

2 意見募集期間

令和元年12月3日（火曜日）から令和2年1月14日（火曜日）まで

3 意見提出件数

5件

4 提出された意見の要旨とこれに対する実施機関の考え方

(1) 意見1

行政経営推進プラン、ざっと拝見をさせていただきました。私からいくつかのご提案をさせていただければと思います。

**1. 実績の確認、予実管理を毎月行う**

できる分野、できない分野があるとは思いますが、できる限り毎月事業の進捗確認と公表をお願いいたします。タイムリーな判断こそが経営の肝です。「数字で経営する」ということができれば、大きな失敗も少なくなると思います。ぜひ、佐伯市役所でも実践できることだと思いますので、毎月の収支報告、部門別採算の確認など、全メンバーが経営者マインドを持てるように数字で経営を行う土壌を耕していただきたいです。

**【実施機関の考え方】**

プランの進捗管理については、年3回の行財政改革推進委員会を予定しており、その結果については、その都度、ホームページで公表します。

(2) 意見2

**2. 人と人の関係性を高める（職員向け）**

上記には、数字のことを書き上げておりますが、実際に数字を使い、結果を出していくのはやはり「人」です。すべての根本となる人の心が荒廃していれば、結果はおのずと荒廃した結果が出てくると思います。事業の内容や戦略の中身の前に、まずは人と人の関係性を高めることが最重要課題だと認識し、部署間交流や若手職員同士の交流などに積極的に取り組んでいただきたいです。大きなお金を使う必要はなく、市長のされているランチ会や経営コンパのようなものをぜひ開催し、人の心を耕すことにも尽力していただきたいです。

**【実施機関の考え方】**

部局間交流、年代を超えた交流、官民交流は、人と人の関係性が増すことにより、あらたな発見を得る大切な手段と考えます。

今後は、職員が様々な市民や企業等との交流に取り組む仕組み作りを行います。

(3) 意見3

3. 経費削減の具体的アイデア

行政側に経費を削減してくれ！と声高に市民から訴える以上、市民側も市の歳出削減に貢献できる取り組みを行うべきだと考えています。たとえば、家庭ごみの排出量を減少させるような取り組み。今までゴミ袋を3つだしていたところ、2つまでに抑えたり、生ごみはたい肥として利用するような工夫をしたり、ごみ処理費の削減を行うなど、これは一つの例ですが、市民として、日常生活の中で取り組める歳出削減の方法を実践することも非常に大事だと考えます。これに加えて、1番で申し上げた通り、自分たちが頑張った結果がきちんと数字として表れていることを実感するためにも、こうしたアクションの結果を翌月の10日頃までには把握し、市民へフィードバックする必要があると考えます。結果が12か月後にしかわからないようであれば、アクションした市民の方も、糠に釘うち状態でやってもやらなくてもいいかという感情に陥ってしまうと思います。アクションに対してのフィードバックをできる限り早いタイミングで返す仕組みづくりも1番には含まれています。

【実施機関の考え方】

市民による経費削減の取組には、ごみ排出量の削減、リサイクルの推進、定期的な検診による医療費削減等が考えられますが、行財政改革の効果額として算出しにくく、今後も各々の施策で事業に取り組みます。

(4) 意見4

4. リノベーションのススメ。費用を抑える、思い出を残す

学校の老朽化に伴う大改修を実施予定という内容が素案内に拝見できました。老朽化した学校の改修には大賛成です。子供たちの命をきちんと守れる状態にしておくのは必要です。ただ、まだ活用・転用、利活用などが可能な建物に関してスクラップ&ビルドを行うのはもったいないと思います。学校にはたくさんの方の世代の思い出が詰まっています。できるなら、リノベーションという手法を用いながら、「費用を抑え、思い出を残す」ようなベストな選択がなされることを祈念しております。おそらく用途の変更などで規制が多くあるとは思いますが、時代のニーズこれからの社会に合わせた柔軟な対応を検討していただきたいです。リノベーション関連については、貴所職員もプライベートでリノベーションの勉強や視察をされ、実際に古民家を購入され家族を含めた社会実験を実践されていると思いますので、ぜひ意見を聞いていただき、学校改修のプロジェクトに含んでいただきたいです。

【実施機関の考え方】

本市は、市町村合併により同種、同機能の施設を数多く保有しているため、「佐伯市公共施設等総合管理計画」に基づき、複合化、集約化、廃止等により施設総量を削減していきます。その手法としてリノベーションも考慮します。

(5) 意見5

プランを見ていると、今後の佐伯市に絶望的な感じを受けます。どんどんプランを推進していただきたいです。大手前の桜ホール年間維持費は当初よりどんどん上がってきているように思います。最終的には、2億円程度になるのではないのでしょうか。介護保険や医療費の今後の負担人口の減を考えると、振興局の統廃合は必要だと思います。この機に及んで、本匠振興局の建て替えなどはあってはならないことだと思います。振興局もいずれは無くし、ネットの発展で人の必要性なくなるのではと思います。それと、行政サービスが佐伯市全体に平等にいきわたることは考えにくいので、20~30年すれば旧佐伯市への人口集中は避けられないと思います。まずは、職員の数と給与の削減、ネットワークの構築、AIの導入、振興局の廃止、行政サービスの削減、税金の値上げという風になるのかと思います。思い切った改革をお願いします。

【実施機関の考え方】

本プランの実施項目に「本庁と振興局と出張所の業務のあり方と組織の再編の検討」を掲げています。まずは、振興局・出張所業務の現状把握を実施し、その後、組織の再編を検討していきます。

5 意見に基づいて修正した内容等  
なし

6 問い合わせ先  
佐伯市役所総合政策部行政マネジメント課（本庁舎5階）  
直通電話 22-4073  
Eメール: gyoseimg@city.saiki.lg.jp